

第135回(令和5年12月)情報処理技能検定試験(データベース)4級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB4フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は20分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

商品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品CO	長整数型	11
	商品名	テキスト型	焼きそばパン
	単価	長整数型	150

注文テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	注文番号	長整数型	101
	商品CO	長整数型	15
	数量	長整数型	38

※商品マスタ.csvの1行目は項目名とする。

<処理条件>

数量が50以上の注文一覧表を作成する。

- それぞれの商品COを関連付けしなさい。
<出力例>のとおり、それぞれの項目を選択しなさい。
数量が50以上を抽出しなさい。
[処理結果件数：6件]
- 表を作成しなさい。
表題は“注文一覧表（数量50以上）”とする。
データの並び順は数量の昇順とする。
単価は通貨表示とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

注文一覧表（数量50以上）				
注文番号	商品CO	商品名	単価	数量
102	16	フランクロール	¥280	50
		}		
107	11	焼きそばパン	¥150	66

第135回(令和5年12月)情報処理技能検定試験(データベース)3級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB3フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

顧客マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	101
	顧客名	テキスト型	富岡 実央
	還元率	倍精度浮動小数点型	0.06
	店舗CO	長整数型	3

※顧客マスタ.csvの1行目は項目名とする。

店舗マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	店舗CO	長整数型	1
	店舗名	テキスト型	北山町

※店舗マスタ.csvの1行目は項目名とする。

請求テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	101
○	請求年月	長整数型	202304
	請求額	長整数型	6150

<処理条件>

- ポイントが5,000以上のポイント一覧表を作成する。
- それぞれの顧客CO・店舗COを関連付けしなさい。
顧客CO・請求年月ごとにポイントを求めなさい。
ポイント=請求額×還元率
ポイントが5,000以上を抽出しなさい。
[処理結果件数：5件]
 - ポイントの合計を求めた表を作成しなさい。
表題は“ポイント一覧表（5,000以上）”とする。
データの並び順はポイントの降順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

ポイント一覧表（5,000以上）					
顧客CO	顧客名	店舗名	請求年月	ポイント	
138	山岸 鈴香	北山町	202311	7,150	
		}			
148	半田 清美	広田	202308	5,000	
合 計				XX,XXX	

第135回(令和5年12月)情報処理技能検定試験(データベース)2級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB2 フォルダ内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

商品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品C O	長整数型	11
	商品名	テキスト型	三色団子
	単価	長整数型	660
	区分C O	長整数型	3

※商品マスタ.csvの1行目は項目名とする。

区分マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	区分C O	長整数型	1
	区分名	テキスト型	もなか

※区分マスタ.csvの1行目は項目名とする。

売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客C O	長整数型	102
○	売上日	日付/時刻型	2023/11/20
○	商品C O	長整数型	17
	数量	長整数型	6

累積売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客C O	長整数型	101
○	売上日	日付/時刻型	2023/4/7
○	商品C O	長整数型	18
	数量	長整数型	8

<処理条件>

- 11月の売上を追加し、10月以降の区分別合計売上額一覧表を作成する。
 - <売上テーブル>のすべてのレコードを<累積売上テーブル>に追加しなさい。
[追加件数：56件]
 - <累積売上テーブル>・<商品マスタ>の商品C Oを関連付けしなさい。
顧客C O・売上日・商品C Oごとに売上額を求めなさい。
売上額=単価×数量
売上日が2023/10/1以降を抽出しなさい。
[処理結果件数：110件]
- <処理条件>2.の結果と<区分マスタ>の区分C Oを関連付けしなさい。
区分C O・区分名ごとに数量・売上額を集計（合計）しなさい。
数量の集計は“合計数量”、売上額の集計は“合計売上額”とする。
[処理結果件数：4件]
- 合計売上額の平均を求めた表を作成しなさい。
表題は“区分別合計売上額一覧表（10月1日以降）”とする。
データの並び順は合計売上額の降順とし、平均は整数未満四捨五入の表示とする。
表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

区分別合計売上額一覧表（10月1日以降）			
区分C O	区分名	合計数量	合計売上額
4	ようかん	167	177,750
		}	
3	団子	112	70,880
		平均	XXX,XXX

第135回(令和5年12月)情報処理技能検定試験(データベース) 1級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理フロー>および<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB1フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

商品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品CO	長整数型	101
	商品名	テキスト型	赤鉛筆
	区分CO	長整数型	11
	単価	長整数型	60

※商品マスタ.csvの1行目は項目名とする。

区分マスタ

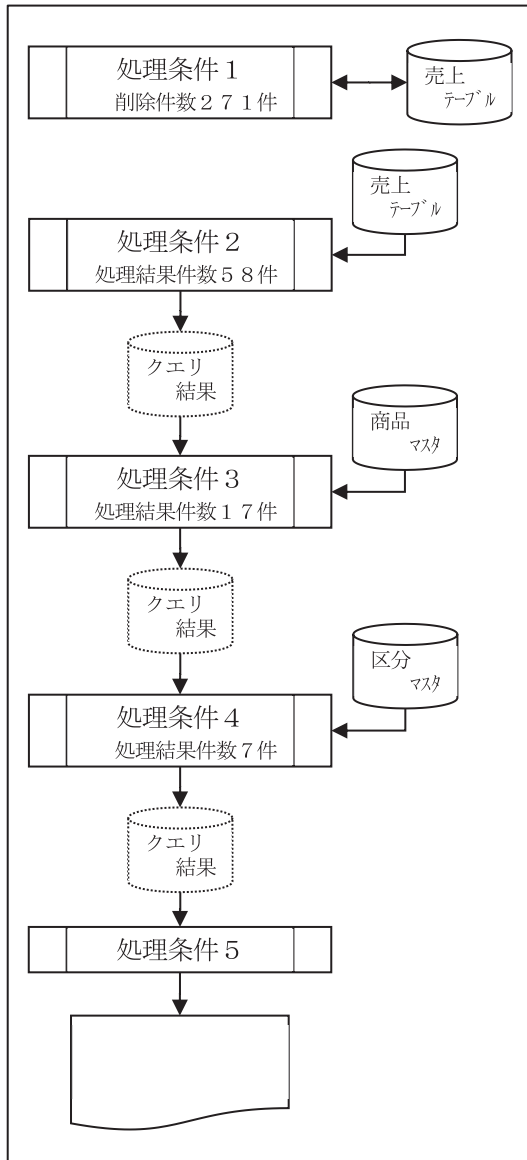
KEY	項目名	データ型	データ例
○	区分CO	長整数型	11
	区分名	テキスト型	筆記具

※区分マスタ.csvの1行目は項目名とする。

売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	1001
○	売上日	日付/時刻型	2023/1/18
○	商品CO	長整数型	103
	数量	長整数型	52

<処理フロー>



<処理条件>

4月より前の売上を削除し、数量が20以下の商品別リピート売上一覧表を作成する。

- 売上日が2023/4/1より前のレコードを削除する。
- 顧客CO・商品COが重複するデータの顧客CO・商品CO・売上日・数量を抽出する。
- 顧客CO・商品CO・売上日ごとに売上額を求める。
売上額＝単価×数量
数量が20以下を抽出する。
- 商品CO・商品名・区分名ごとに数量を集計（平均）し、売上額を集計（合計）する。
数量の集計は“平均数量”とし、売上額の集計は“合計売上額”とする。
- 表を作成する。
表題は“商品別リピート売上一覧表（数量20以下）”とする。
データの並び順は合計売上額の昇順とし、平均数量は小数第1位未満四捨五入の表示とする。
表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

商品別リピート売上一覧表（数量20以下）

商品CO	商品名	区分名	平均数量	合計売上額
120	スポンジ	キッチン用品	14.0	2,800
		}		
125	ハサミ	事務用品	18.7	12,320